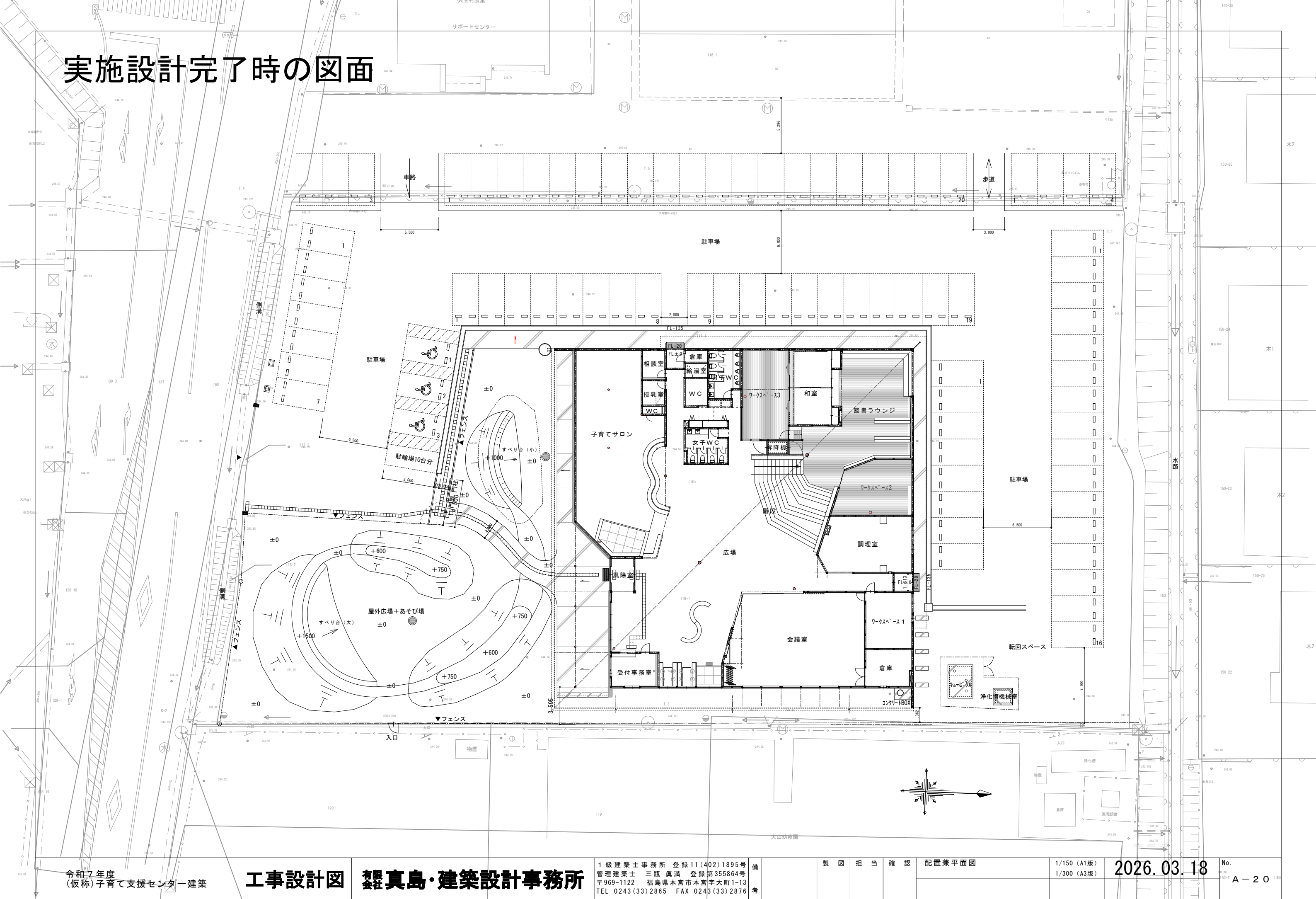


実施設計完了時の図面



令和7年度
(仮称)子育て支援センター建築

工事設計図 齋真島・建築設計事務所

1級建築士事務所 登録11(402)1895号
管理建築士 三瓶 真満 登録第355864号
〒969-1122 福島県本宮市本宮字大町1-13
TEL 0243(33)2865 FAX 0243(33)2876

備考

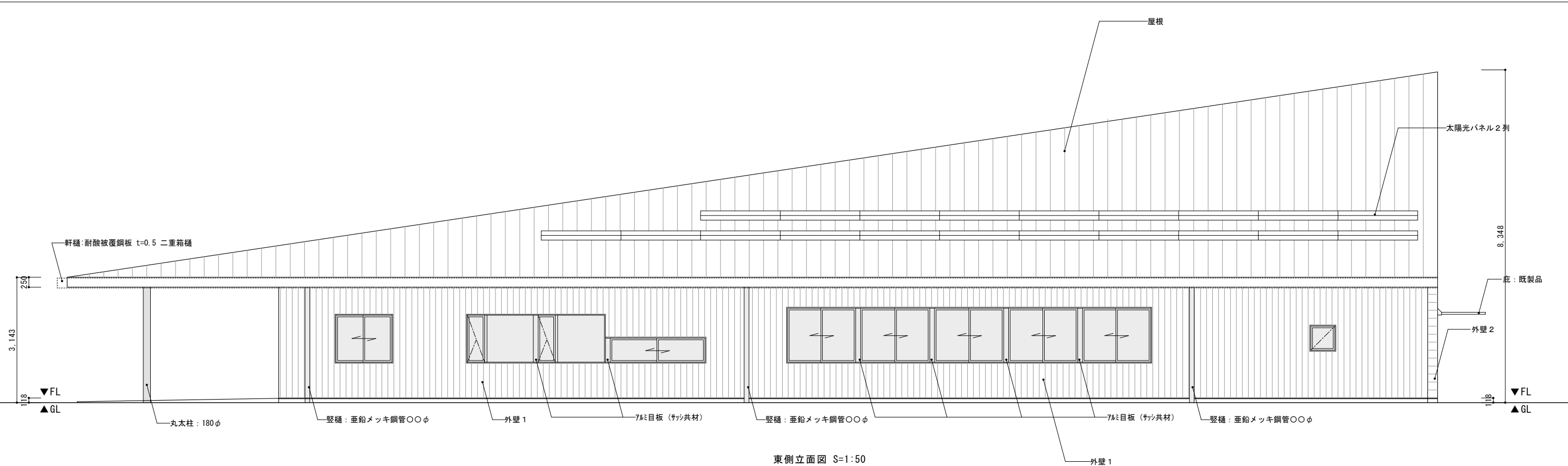
製 図 担 当 確 認

配置兼平面図

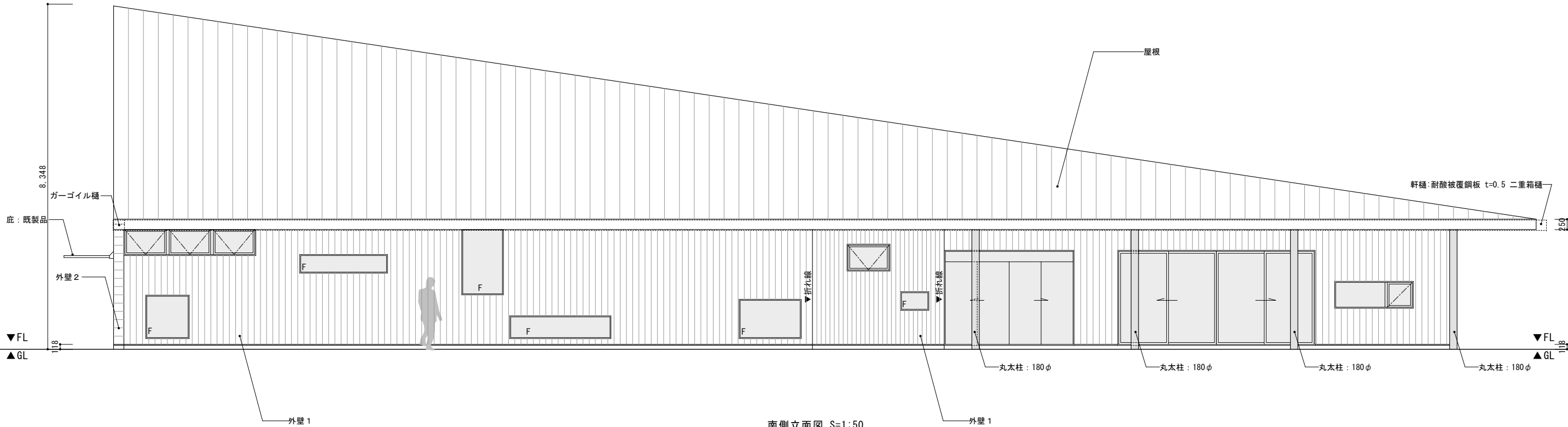
1/150 (A1版)
1/300 (A3版)

2026.03.18

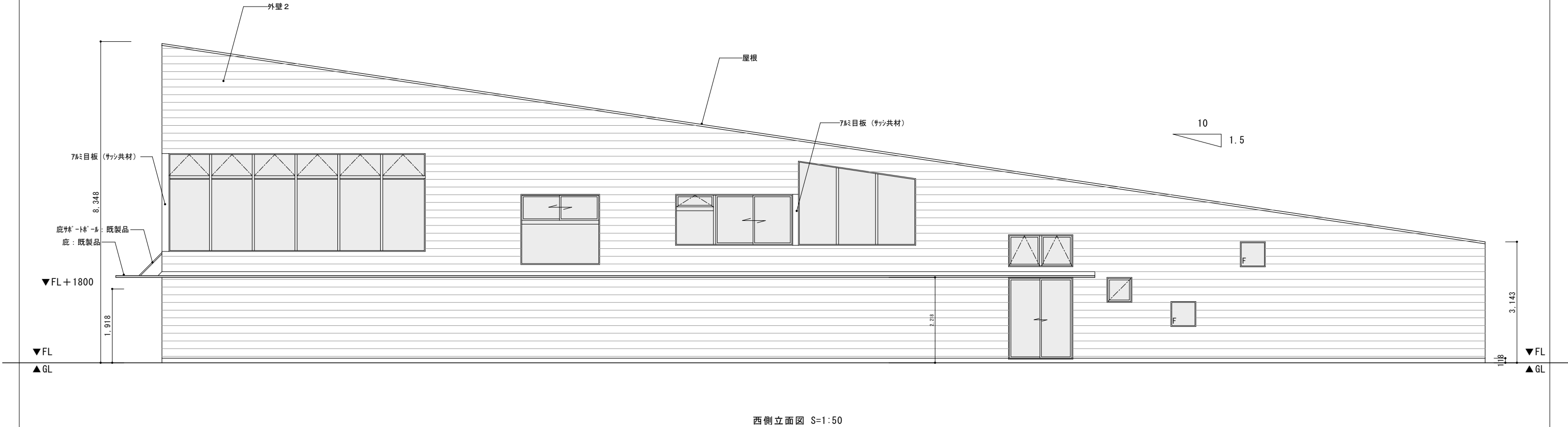
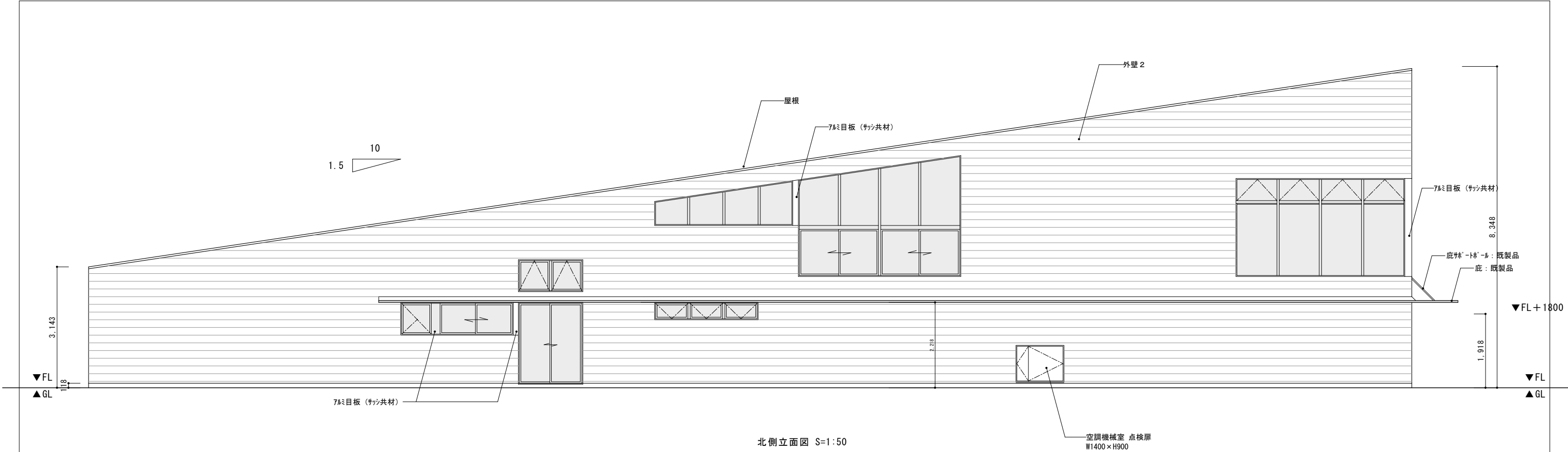
No.
153-2
A-20



東側立面図 S=1:50



南側立面図 S=1:50



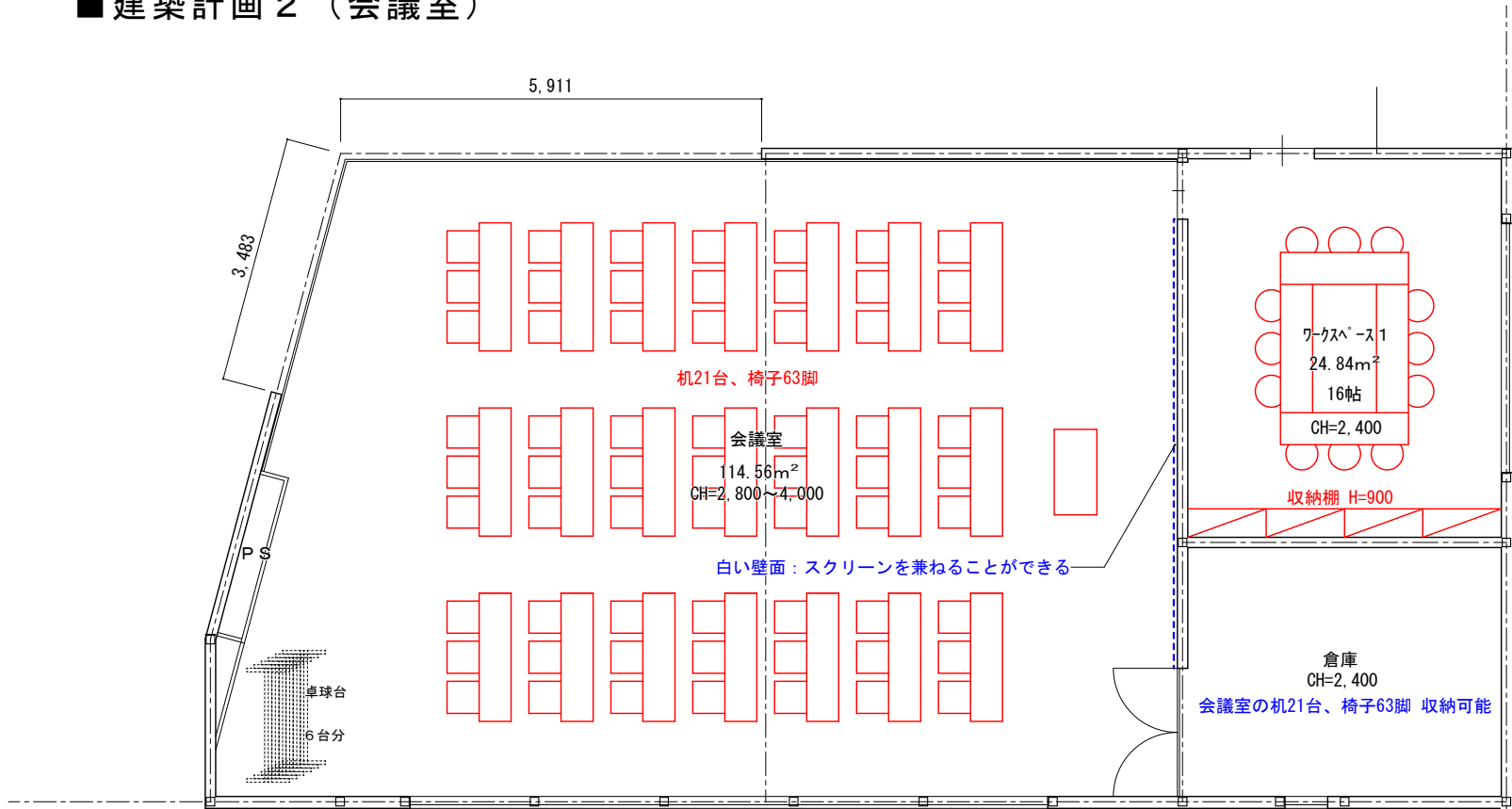
令和7年度 (仮称)子育て支援センター建築	工事設計図	齋真島・建築設計事務所	1級建築士事務所 登録11(402)1895号 管理建築士 三瓶 真満 登録第355864号 〒969-1122 福島県本宮市本宮字大町1-13 TEL 0243(33)2865 FAX 0243(33)2876	備 考	製 図 担 当	確 認	立面図(1)	1/50 (A1版) 1/100 (A3版)	2026. 03. 18	No. A - 2 3

(ただし、床下収納には、上部床を支える支柱が4本程度出てくる。)

机や椅子を収納し、広場全体を劇場のように使う。ミニコンサートや幼稚園のお遊戯会、講演会などを想定している。この時、広場はステージ、階段は客席として使用できる。



■ 建築計画 2（会議室）



Case 1：スクール型

● 会議室

会議室は広場に面し、部屋の中で最も大きく、大規模なセミナーやイベントが可能である。
隣接するワークスペース 1 には、会議室の控室としても使用できるように相互に行き来が可能な戸を設ける。
机や椅子はすべて付属する倉庫に収納可能である。

・ 備品（長机 21 台、椅子 80 脚、スタッキング）

Case 1：スクール型

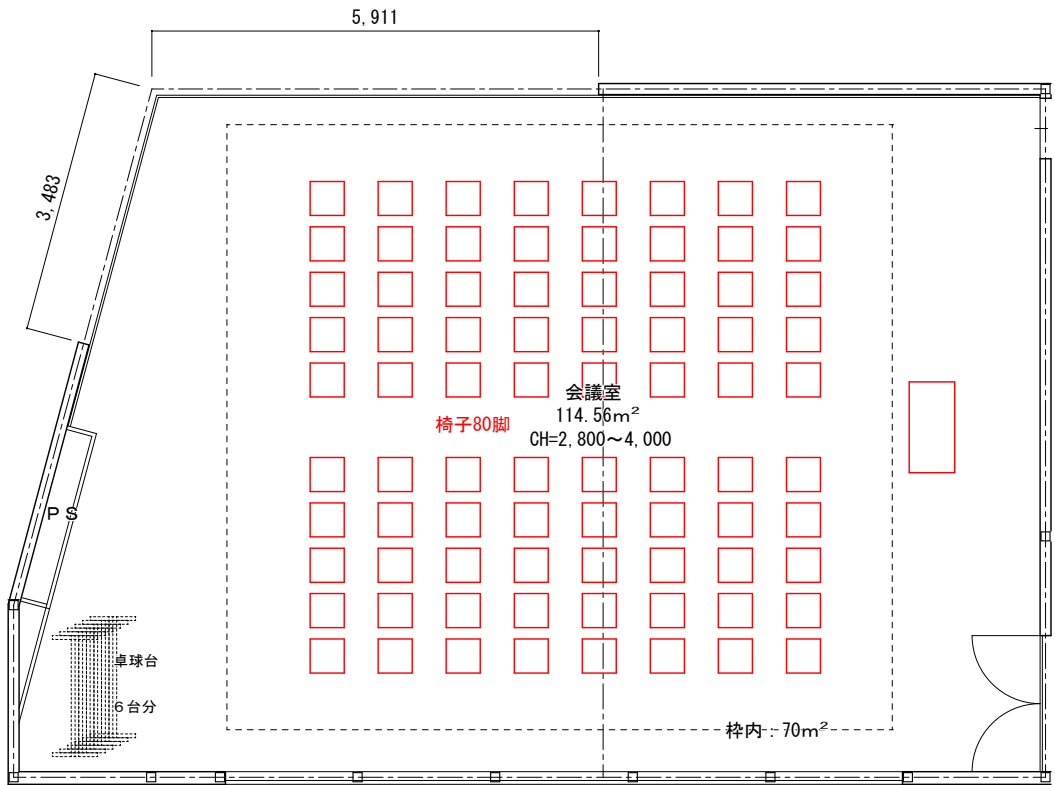
参照資料等を用いる大きな会議やセミナー等の勉強会などに適している。63 席分確保する。

Case 2：シアター型

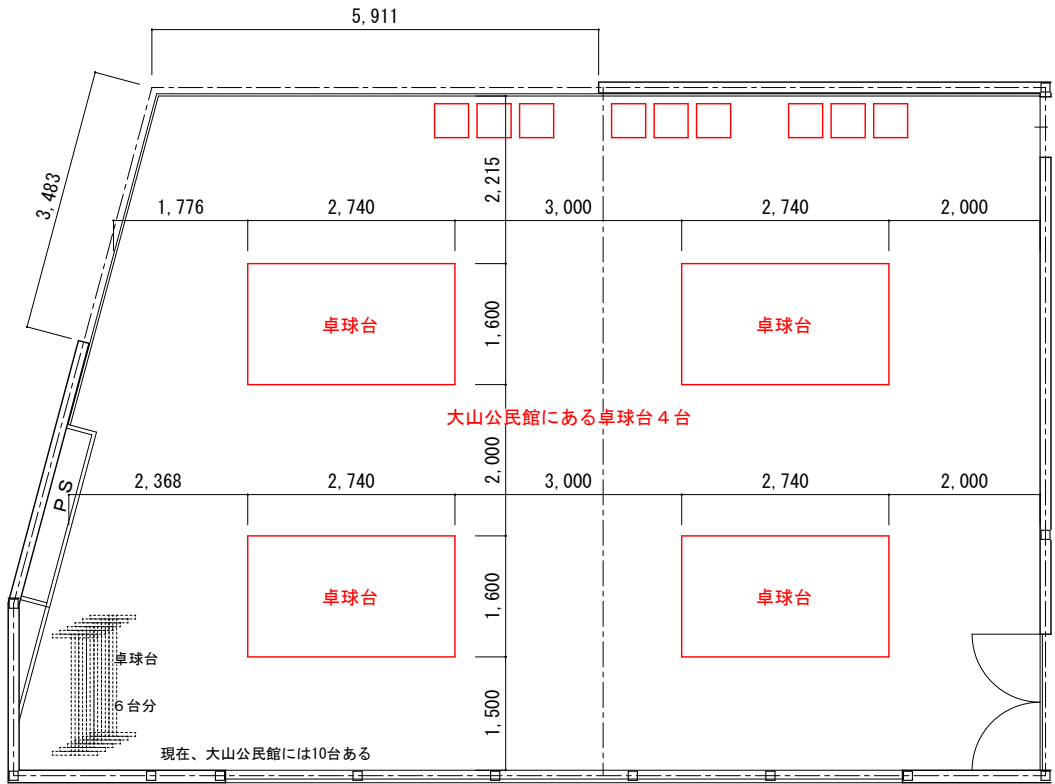
参照資料等を用いない講演会や説明会に適している。80 席分確保する。

Case 3：軽運動型

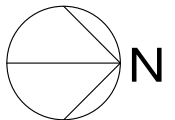
机や椅子を収納し、立って活動するイベントや軽運動などを想定する。イベント時は建具を全開にし、
広場と連続して使用することもできる。卓球台を 4 台程度並べることが可能である。



Case 2：シアター型



Case 3：軽運動型



■ 建築計画 3（図書ラウンジ）

● 図書ラウンジ

建物の北西端に位置し、広場から階段で半階上がったところにある安達太良山が望める展望ラウンジ。窓の前の机に向かい本を読んだり、勉強や仕事をするなど自由に利用できる。図書ラウンジとして約 5000 冊を収蔵できる書架と共に整備する。

・ 備品（大型円形机 1 台、椅子 17 脚、本棚）

● ワークスペース 2

大きく開く仕切りは、普段は開放して図書ラウンジの一部として使うことができる。閉じて集中して学習・読書ができるスペースとすることや、小会議室や展示スペースとしての使用も可能。壁には桧を使用し、森の中にいるような清涼感のある香りで満たす。

・ 備品（長机 10 台、椅子 12 脚）

Case 1：学習スペース

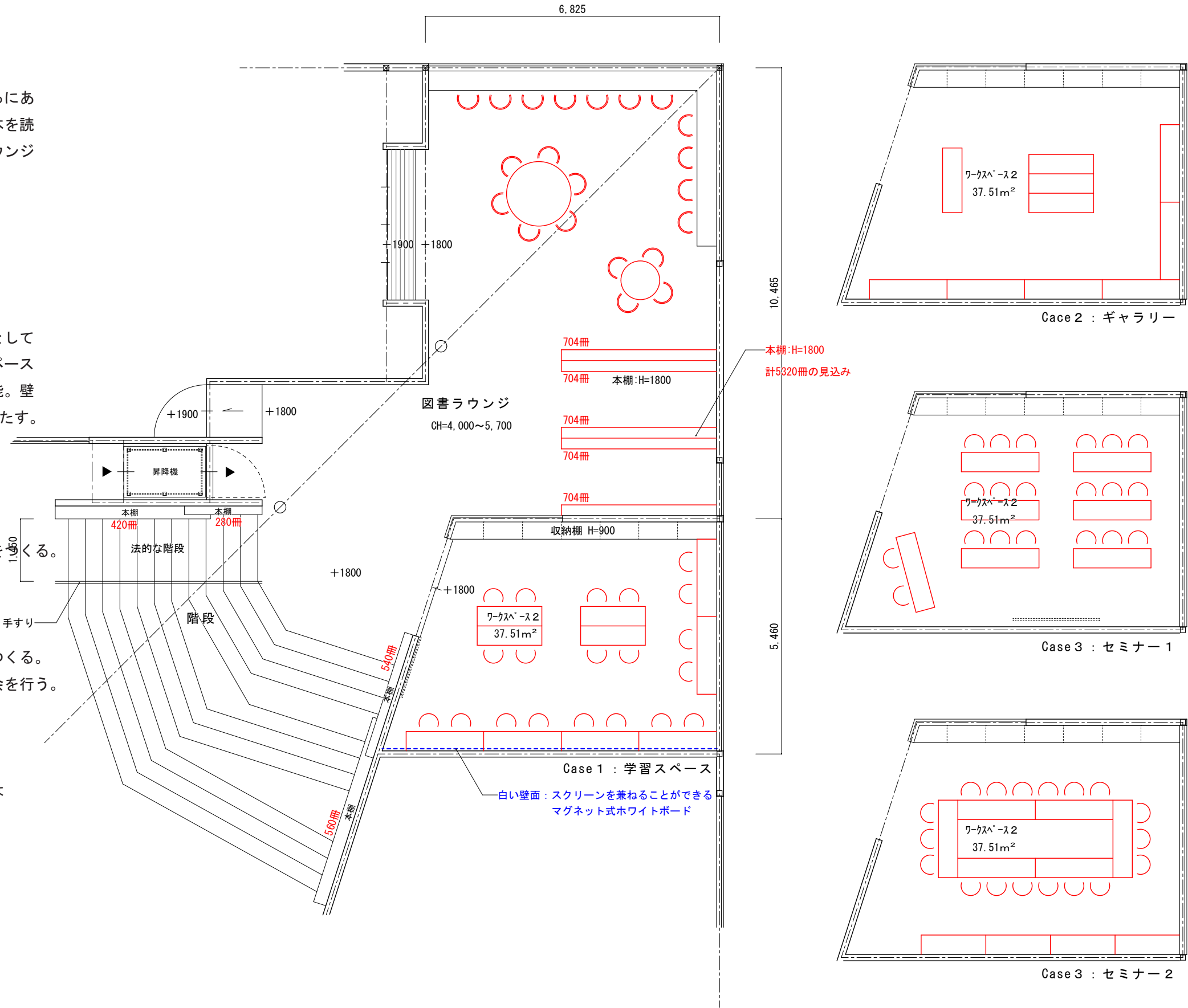
長机と椅子を配置し、机に向かい読書や勉強をできる場所をつくる。建具を閉じて静かに集中できる部屋とすることも可能。

Case 2：ギャラリー

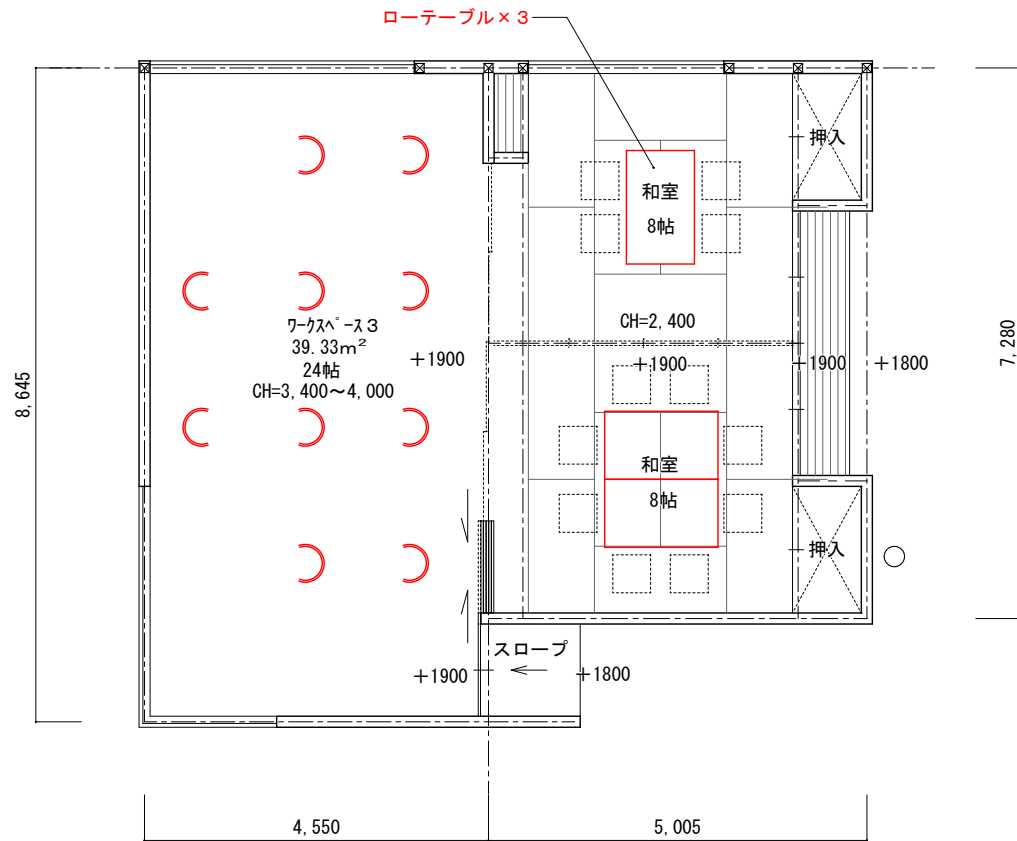
長机をアート作品や絵画、本などを展示、閲覧スペースをつくる。幼稚園や小学校と連携することで生徒の作品の展示や発表会を行う。

Case 3：セミナー 1、2

長机と椅子を配置し、小規模なミーティングや会議を行う。長機の配置によってセミナー形態を変える。東面の白い壁はスクリーンを兼ねることができる。



■ 建築計画 4（和室、調理室）



●和室

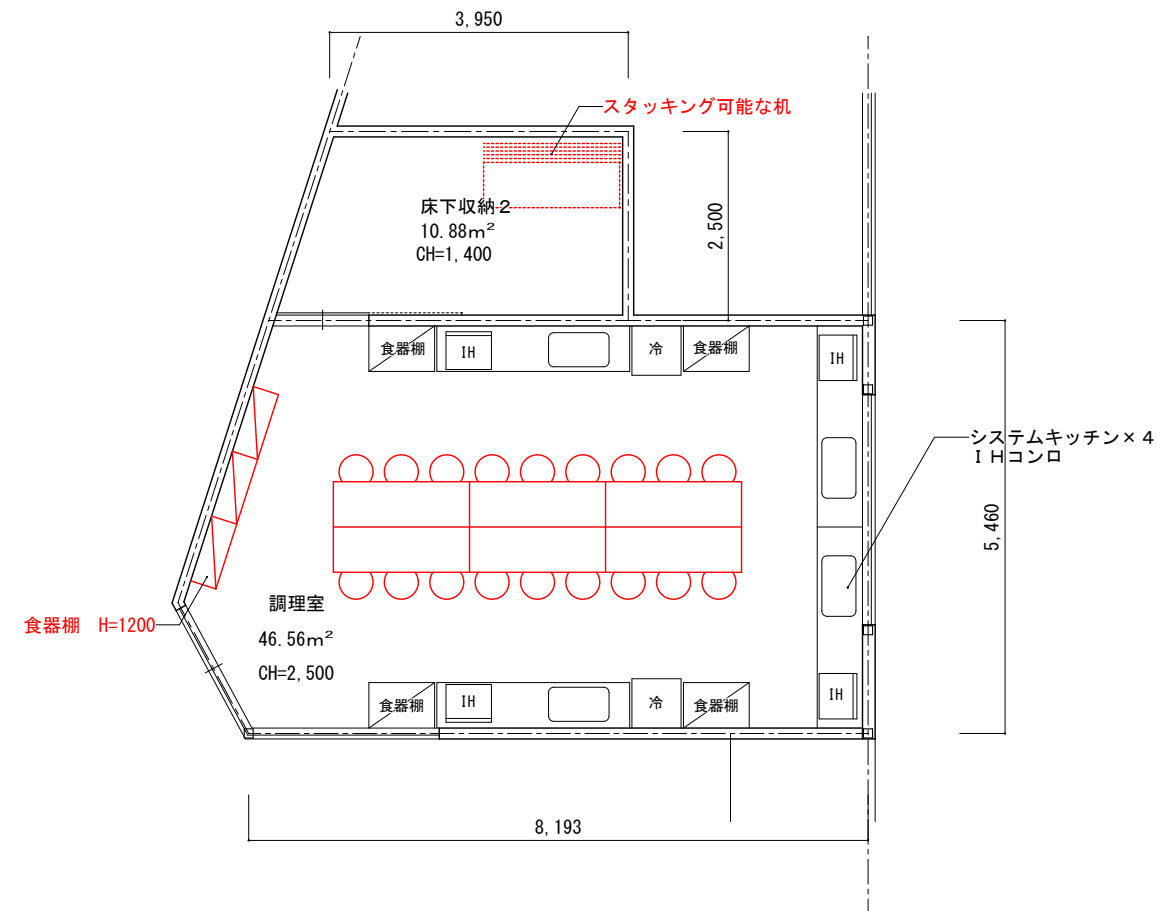
小上がりのついた和室は使用目的に合わせ、襖を開閉して部屋を伸縮することができる。
日本文化的な習い事としての利用だけでなく、親の帰りを待つ子供たちの放課後の居場所として、住宅に近い環境を提供する。ワークスペース 3 との段差がないため、建具を開放することで大きな空間とすることができる。押入に座布団や座椅子などを収納可能。

・ 備品（ローテーブル 3 台）

●ワークスペース 3

机がなく自由な使い方ができるフリースペースである。大人から子どもまで健康体操やダンス、演劇、楽器の練習等を想定している。

・ 備品（椅子 10 脚）



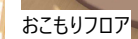
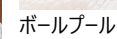
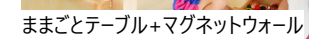
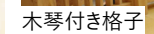
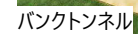
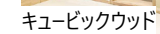
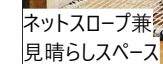
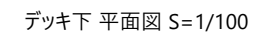
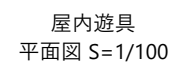
●調理室

厨房機器を 4 セット設ける。一般的な住宅用のキッチンのため、日常の延長として使いやすい。
長机は容易に移動でき、作業台や盛付台、調理後のダイニングテーブルとして利用する。
スキップフロアの余剰空間を活用した床下収納が付属し、机や椅子を収納できる。

・ 備品（長机 6 台、椅子 18 脚、食器棚）



※参考図



■ 建築計画 6（屋外広場）

● 広場と屋外広場

南側の屋外広場は、建物内の広場と各室の関係と同じコンセプトによって計画する。建物内の広場と同様に、中心部は起伏がなく人々が集まって何かできる場所になっており、それを囲むように地形が起伏し、なだらかに中心部とつながる。地形が起伏したことで生まれる様々な空間は、子どもたちの遊び場や、腰をかけたり寝転がったり、誰もが気兼ねなく時間を過ごすことができる。

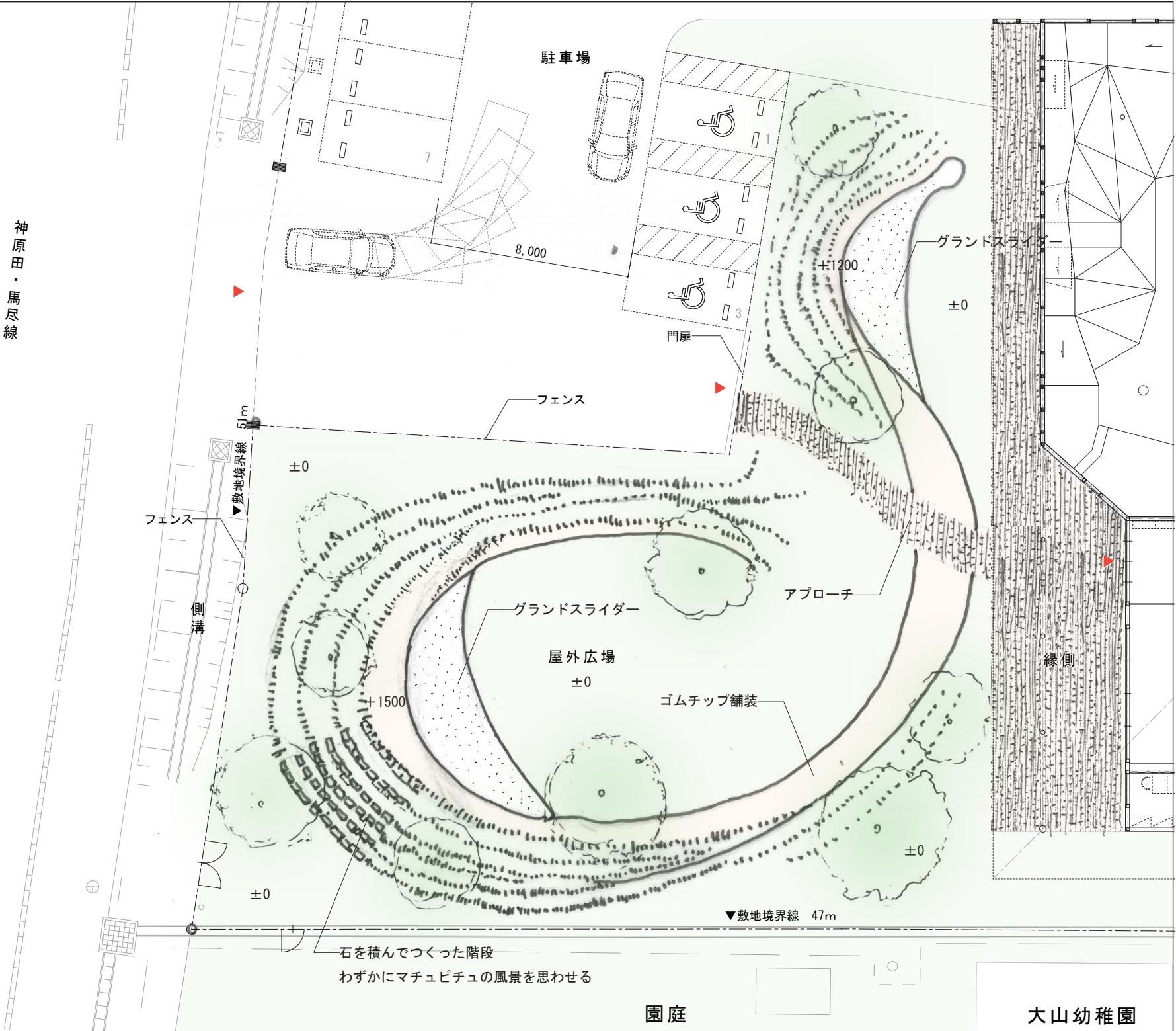
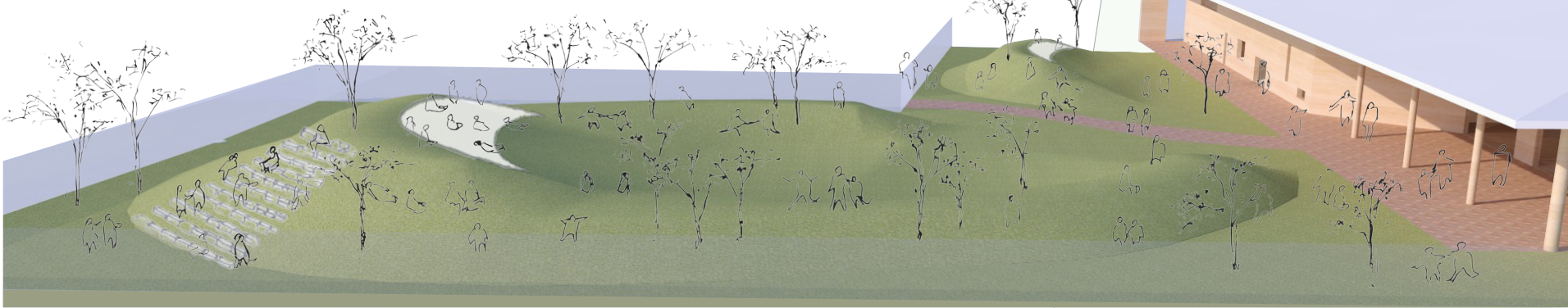
● 子どもたちの遊び場

起伏した地形の緩やかな斜面を利用し、グランドスライダーをつくる。幅 10m、7m 大小 2 つの三日月形の大きなすべり台は、子どもたちだけでなく保護者も一緒に滑ることができる。また、うねりを持った不思議な地形は子どもたちの好奇心を刺激し、思い切り体を動かして遊ぶことができる。地形そのものが大地の遊び場になっている。マチュピチュの風景を思わせる石の階段も子どもたちの遊び場になる。

グランドスライダーの事例写真
(鉄筋とコンクリートで形を整え、人造石モルタルを塗り、研磨仕上。)



イメージパース



園庭

大山幼稚園